

献立ひとくちメモ

11月12日(金)



きのこのお話です。

きのこは「天然きのこ」と「栽培きのこ」の2種類に分けられます。天然きのこはマツタケやトリュフなど自然にできたもので、栽培きのこは木にきのこを作る菌を植え付けて育てたもので、シイタケ、えのきたけ、エリンギ、なめこ、しめじ、まいたけ、マッシュルームなどがあります。

きのこは、「孢子」という菌から大きくなります。きのこのかきの裏には、たくさんのひだがあり、孢子が作られています。孢子は風に乗って、着地した場所で発芽し、菌糸（きのこの体を作る細胞）を伸ばします。そして分裂、成長し、菌糸同士がくっつき、たくさん集まって、一つの大きなきのこになります。